

やまんなか便り \ 11月13～20日は、「といろの会」作品展と各イベント開催します！／

発行元：南山城村役場

産業観光課

発行日：令和4年11月1日

期間中無休
13～17時

といろの会とは・・・毎月、旧高尾小学校で開かれている絵の会です！
思い思いに描いた十人十色の第6回作品展！ぜひご覧ください(^-^)/
“やまんなか”2階スペースにて。



日	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)	18(金)	19(土)	20(日)
1階		鼻笛であそぼう！	小川珈琲ふるまい 新聞バッグ作り	どうぶつ園のおはなし たねの会	ちくちく 手しごとの会	筆ペンアート 体験		
2階	といろの会 第6回作品展 13:00～17:00							

【鼻笛であそぼう！】

鼻に当てて鼻息でふんふん鳴らす鼻笛。慣れると曲を奏でることも！
見ているだけでも楽しめる不思議な魅力の鼻笛で遊びましょう♪

11/14(月)
13時半～16時
参加費：無料
出入り自由



【新聞バッグ作り】

しっかりした取っ手付き新聞バッグを作ってみましょう！



11/15(火)
13～16時の間 随時
参加費：500円
定員：1回あたり4人程度

見学
OK

【たねの会】

たねのおやつを食べよう！お米や豆など、たねを使ったおやつは
いかが？なつかしい味、新しい食べ方もぜひ教えてください。持ち寄りも歓迎します！

11/16(水)
15～16時半
参加費：無料
出入り自由



【ちくちく手しごとの会】

縫物、編み物、工作、手しごとなら
なんでもかまいません。作りたい物を持参して一緒に楽しみましょう。
★毎月1回、定期開催しています！

11/17(木)13時半～16時
参加費：無料
出入り自由

見学
OK



【小川珈琲ふるまい】

京都の老舗「小川珈琲」さんが、70周年を迎えるにあたり村内で活動中！担当の井深くんが珈琲を淹れてくださいます！※数には限りがあります、お早めに♪

11/15(火) 14～16時
参加費：無料



【どうぶつ園のおはなし】

全国の動物園の動物たちに毎日ごはんを届けている「クローバーリーフ」(田山)の西窪さんが、お仕事の事や動物園の事などお話していただきます！パンダはグルメだった？！カメのメタボ事情！どんなお話が聞けるか、お楽しみに(^-^)/

11/16(水)13時～(1時間程度)
参加費：無料



【筆ペンアート体験】

書き方や書き順にとらわれず、自由に“書”を楽しみましょう♪お手軽な筆ペンで味のある文字や絵を描いてみませんか？絵が苦手でも大丈夫♪お手本を見ながら基礎を練習する体験です！

11/18(金)
14時～(2時間程度)
参加費：500円
定員：8人 ※要予約
マイ筆ペン持参歓迎！

見学
OK



★駐車場はやまんなか南側スペースおよび田山農村婦人の家をご利用ください。

※諸事情により予告なく内容が変更となる場合がございます。来館やイベントに参加される時は、マスクの着用をお願いします。発熱等の症状がある場合は参加をお控えください。

移住交流スペース「やまんなか」(田山の郵便局のお隣)



通常開館：水・金・土
10時～16時

☎ 0743-94-0666
✉ murapura163@gmail.com

移住者の米作りを密着取材 ～昔ながらの足踏み・唐箕での脱穀作業～

移住交流推進員

野崎弘之

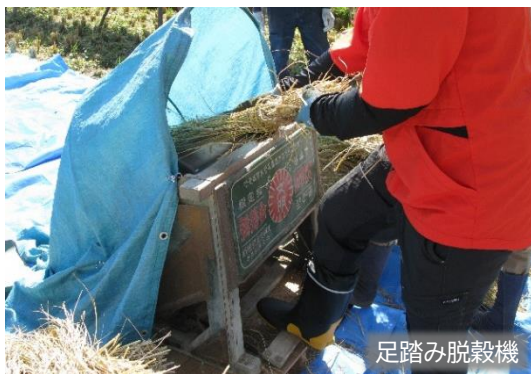
昨年4月に移住してきた内田貴文さん・曜さんご夫妻が、今年から米作りを始めました。昨年と一緒に米作りを教わった仲間だったのですが、今年は「独立」して自分たちだけでのチャレンジです。当然のように「昔ながら」の米作りに挑戦しており、人脈を駆使しながら作業を進めてきたようです。いつの間にか稲刈り作業が終了しており、素人とは思えない程しっかりとした稲架掛けを見せていただきました。彼らもまた、村外から様々な「関係人口」を呼び込み南山城村をPRしてくれています。今回は



きれいに稲架掛けができています



昔ながらの脱穀って大変！



足踏み脱穀機

取材を兼ねて、彼らの脱穀作業のお手伝いに参加してきました。「昔ながらの米作り」に必要な道具と言えば、やはり「足踏み脱穀機」と「唐箕」ですね。誰かに頼んで手配をしてあげようかなと思っていたのですが、なんと！すでに手に入れていたのです。地元の方から「もう使わないから」という事で譲っていただいたようです。少し壊れていたらしいのですが、貴文さんが修繕して問題なく使用できる状態になっていました。このあたりも、すっかり村暮らしが板についてきたなあと感じさせられます(笑)。古い道具を使って面倒な作業を行うなんて非効率だと思われるかもしれませんが、参加している方は『貴重な体験』と捉えており、田舎のおいしい空気を吸い込みながら適度な運動量で良い汗をかき、終始賑やかで笑顔の多い時間を過ごせて、むしろ達成感や幸福感を得られたのではないのでしょうか♪

最近「不便益」という言葉をよく聞くのですが、皆さんはご存知ですか？「不便によって得られる益」という事らしいのですが、今回の田んぼでの作業もまさにその通りだと感じました。効率化や自動化が求められる時代だからこそ、敢えて「不便を愉しむ」という志向が生まれてきているとの事。個人的には良い傾向だと思っています。さて、移住者たちが田んぼを借りて米作りをするケースが増えてきました。僕自身も「あそこの田んぼ、誰かやってくれる人はおらんか？」と、村人から声をかけられる事が多くなってきました。僕ひとりではどうしようもありますが、今回の内田夫妻のように「移住者」や「移住希望者」がチャレンジしたいと申し出るケースはまだまだ増えるのではないかと思います。「空き家」だけでなく「空き農地」の利活用の事例も、少しずつ増やしていけると良いなあと考えています。



唐箕でもみ殻や藁くずを飛ばす



作業完了！みんな笑顔で楽しそう♪